

<為替ヘッジあり>

第2期末（2025年7月25日）	
基準価額	13,328円
純資産総額	266百万円
騰落率	30.0%
分配金	0円

<為替ヘッジなし>

第2期末（2025年7月25日）	
基準価額	13,461円
純資産総額	30億円
騰落率	32.7%
分配金	0円

商品内容、運用状況などについてのお問い合わせ先

コールセンター **0120-762-506**

(9:00～17:00 土日祝日・年末年始を除く)

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>

お客様の口座内容に関するご照会は、
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。



ニッセイアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-6

ニッセイゴールドファンド (為替ヘッジあり／為替ヘッジなし) <購入・換金手数料なし>

追加型投信／内外／その他資産（商品）

運用報告書(全体版)

作成対象期間:2024年7月26日～2025年7月25日

第2期(決算日 2025年7月25日)

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて「ニッセイゴールドファンド（為替ヘッジあり／為替ヘッジなし）＜購入・換金手数料なし＞」は、このたび第2期の決算を行いました。

各ファンドは、「ニッセイゴールドマザーファンド」受益証券への投資を通じて、金価格への運動をめざす上場投資信託証券（ETF）等を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

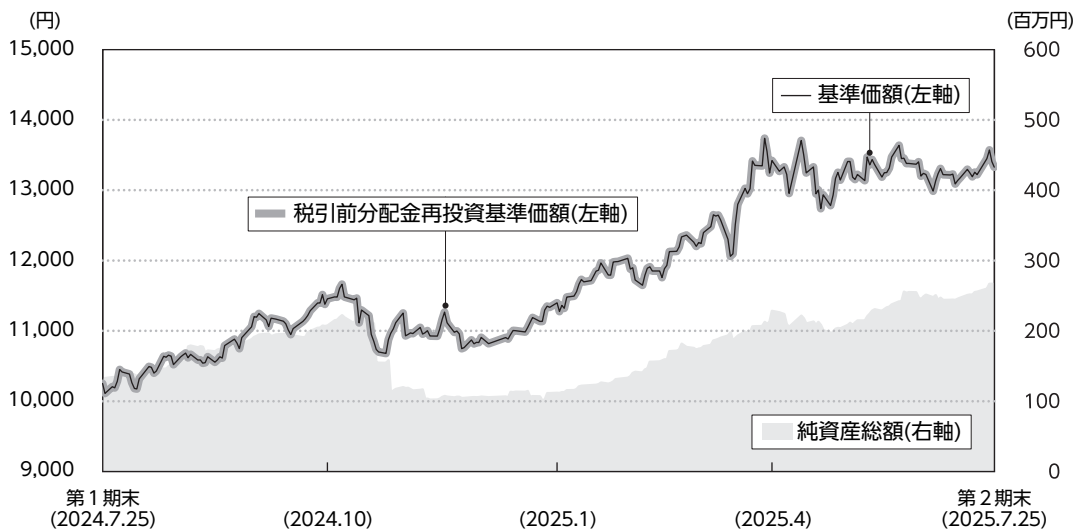
今後ともいっそうのご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

2025年6月21日に約款変更を行い、ファンド名称を「＜購入・換金手数料なし＞ニッセイゴールドファンド（為替ヘッジあり）／（為替ヘッジなし）」から「ニッセイゴールドファンド（為替ヘッジあり）／（為替ヘッジなし）＜購入・換金手数料なし＞」に変更しました。

運用経過

2024年7月26日～2025年7月25日

基準価額等の推移



第2期首	10,250円	既払分配金	0円
第2期末	13,328円	騰落率（分配金再投資ベース）	30.0%

(注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、前期末の基準価額にあわせて再指数化しています。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 当ファンドはベンチマークを設けていません。

■基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

- ・2024年8月に米国9月利下げ観測と中東における地政学リスクが高まり、安全資産としての買いにより金価格が上昇したこと
- ・9月に欧州中央銀行（ECB）や米連邦準備制度理事会（FRB）の利下げ、中東の地政学リスクの高まりから金価格が上昇したこと
- ・2025年1月に米トランプ新政権発足に伴う政策不透明感が意識されて投資家のリスク回避の買いが入ったほか、中国人民銀行（中央銀行）による金保有増加の報道等を背景に金価格が上昇したこと
- ・3月に米インフレ指標鈍化や関税政策の影響が続く中で金への逃避買いが生じ、金価格が上昇したこと
- ・4月中旬に米中間の関税を巡る対立懸念や米ドル安を背景に安全資産としての金需要が高まり、金価格が上昇したこと

<下落要因>

- ・11月に米大統領選でのトランプ氏勝利により、同氏の政策がインフレを加速させるとの思惑から米金利が上昇したため、金価格が一時大幅に下落したこと
- ・4月下旬から5月中旬にかけて、関税交渉に対し楽観的な見方が広がり、安全資産としての金需要が後退し、金価格が軟調に推移したこと

1万口当たりの費用明細

項目	第2期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	33円	0.275%	$\text{信託報酬} = \text{期中の平均基準価額} \times \text{信託報酬率} \times \frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ <p>期中の平均基準価額は11,825円です。</p>
(投信会社)	(15)	(0.126)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(15)	(0.126)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受託会社)	(3)	(0.022)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
売買委託手数料	16	0.139	$\text{売買委託手数料} = \text{期中の売買委託手数料} / \text{期中の平均受益権口数}$
(投資信託証券)	(16)	(0.139)	売買委託手数料：有価証券等の売買・取引の際に仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	0	0.001	$\text{有価証券取引税} = \text{期中の有価証券取引税} / \text{期中の平均受益権口数}$
(投資信託証券)	(0)	(0.001)	有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	35	0.299	$\text{その他費用} = \text{期中のその他費用} / \text{期中の平均受益権口数}$
(保管費用)	(35)	(0.294)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.001)	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
(その他)	(0)	(0.004)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・ 借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	84	0.713	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

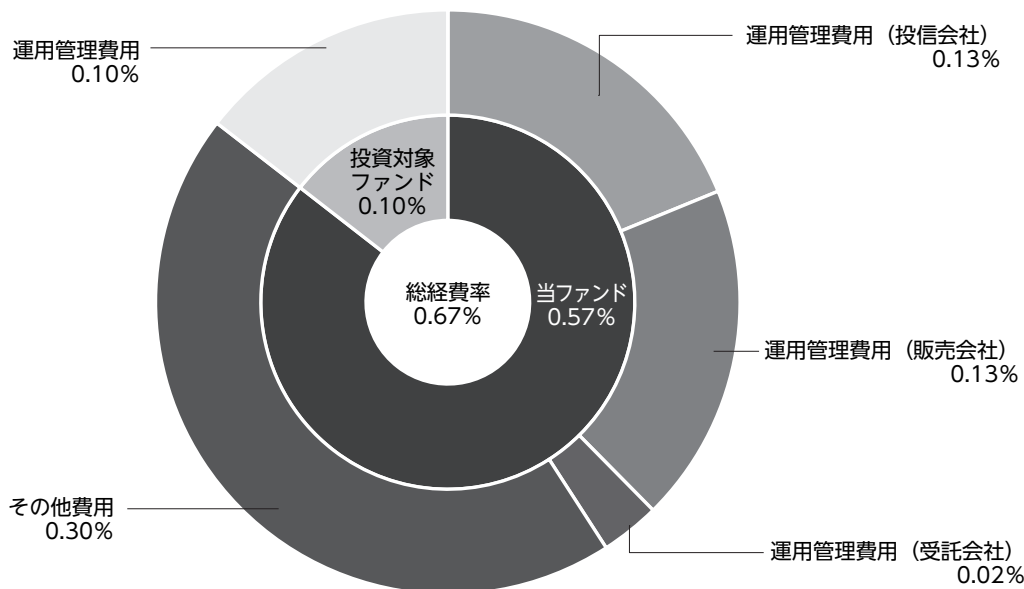
(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

（参考情報）

■ 総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.67%**です。



総経費率（①＋②）	0.67%
①当ファンドの費用の比率	0.57%
②投資対象ファンドの運用管理費用の比率	0.10%

（注1）①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

（注2）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

（注3）各比率は、年率換算した値です。

（注4）投資対象ファンドとは、当ファンドが組み入れているマザーファンドが投資している投資信託証券です。

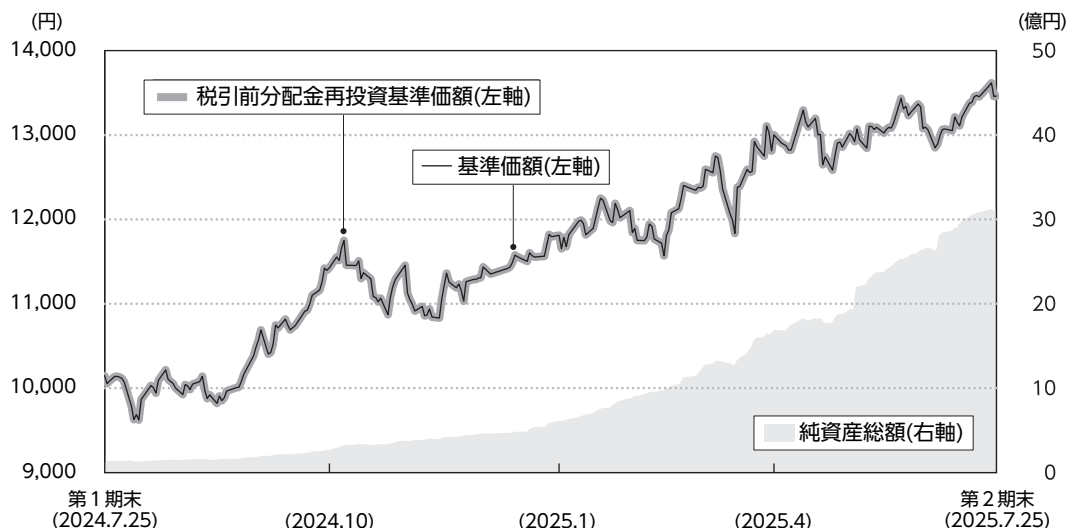
（注5）①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。②の費用は、当ファンドが間接的に負担している投資対象ファンドの費用です。

（注6）①の費用と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

（注7）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

（注8）投資対象ファンドの費用は総経費率、信託報酬率で全額を運用管理費用としています。

基準価額等の推移



第2期首	10,147円	既払分配金	0円
第2期末	13,461円	騰落率（分配金再投資ベース）	32.7%

（注1）税引前分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、前期末の基準価額にあわせて再指数化しています。

（注2）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

（注3）当ファンドはベンチマークを設けていません。

■基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

- ・2024年9月中旬から10月下旬にかけて、ECBやFRBの利下げ、中東の地政学リスクの高まりにより金価格が上昇したことや、為替が円安に推移したこと
- ・2025年1月に米トランプ新政権発足に伴う政策不透明感が意識されて投資家のリスク回避の買いが入ったほか、中国人民銀行による金保有増加の報道等を背景に金価格が上昇したこと
- ・3月に米インフレ指標鈍化や関税政策の影響等で金への逃避買いが生じ、金価格が上昇したこと

<下落要因>

- ・11月に米大統領選でのトランプ氏勝利により、同氏の政策がインフレを加速させるとの思惑から米金利が上昇したため、金価格が一時大幅に下落したこと
- ・4月上旬に、トランプ米大統領の発表した相互関税を受けて世界経済の悪化や貿易摩擦激化への懸念が高まり、他の資産と同様に金が売られたことや、為替が円高となったこと

1 万口当たりの費用明細

項目	第 2 期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	32円	0.275%	$\text{信託報酬} = \text{期中の平均基準価額} \times \text{信託報酬率} \times \frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ <p>期中の平均基準価額は11,725円です。</p>
(投信会社)	(15)	(0.126)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(15)	(0.126)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受託会社)	(3)	(0.022)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
売買委託手数料	18	0.150	$\text{売買委託手数料} = \text{期中の売買委託手数料} / \text{期中の平均受益権口数}$
(投資信託証券)	(18)	(0.150)	売買委託手数料：有価証券等の売買・取引の際に仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	0	0.000	$\text{有価証券取引税} = \text{期中の有価証券取引税} / \text{期中の平均受益権口数}$
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	7	0.061	$\text{その他費用} = \text{期中のその他費用} / \text{期中の平均受益権口数}$
(保管費用)	(7)	(0.059)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.001)	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
(その他)	(0)	(0.001)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・ 借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	57	0.486	

(注 1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

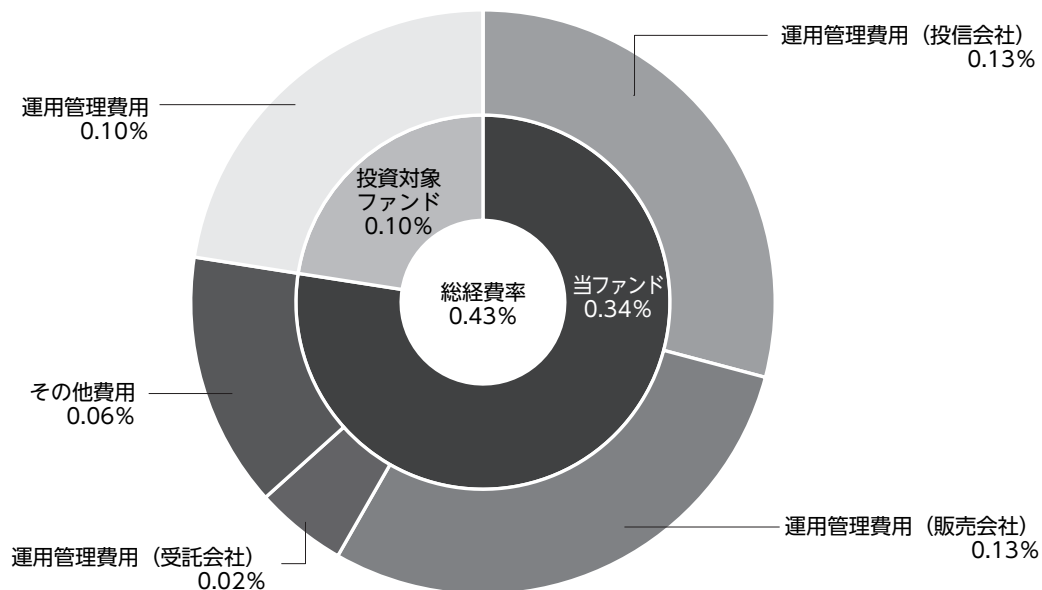
(注 2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注 3) 比率欄は「1 万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第 3 位未満は四捨五入しています。

（参考情報）

■ 総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.43%**です。



総経費率（①＋②）	0.43%
①当ファンドの費用の比率	0.34%
②投資対象ファンドの運用管理費用の比率	0.10%

（注1）①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

（注2）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

（注3）各比率は、年率換算した値です。

（注4）投資対象ファンドとは、当ファンドが組み入れているマザーファンドが投資している投資信託証券です。

（注5）①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。②の費用は、当ファンドが間接的に負担している投資対象ファンドの費用です。

（注6）①の費用と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

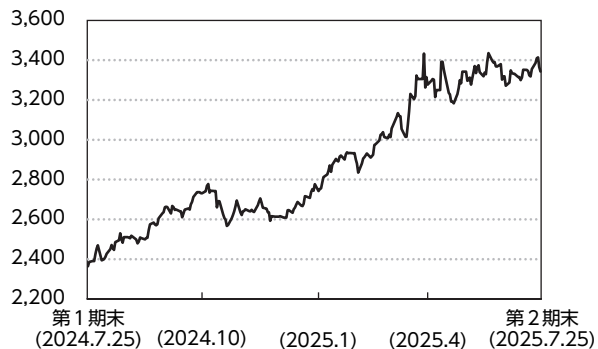
（注7）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

（注8）投資対象ファンドの費用は総経費率、信託報酬率で全額を運用管理費用としています。

投資環境

■金市況

【金価格（米ドルベース）の推移】



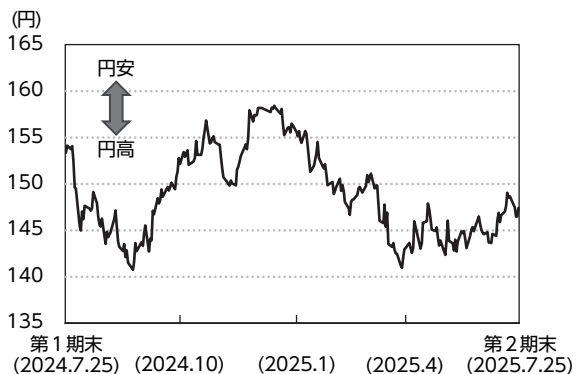
(注) 金価格（米ドルベース）はLBMA Gold Price PM USDであり、ブルームバーグのデータをもとに、ニッセイアセットマネジメントが作成しています。

金価格は期を通じて見ると上昇しました。

期初はF R B が利下げに転じたことや中東の地政学リスクの高まりなどを背景に安全資産としての買いにより、金価格は上昇しました。期半ばは米トランプ新政権発足に伴う政策不透明感や関税政策への懸念からの逃避買いが生じ、金価格は上昇しました。その後、当期末にかけても、米中間の関税を巡る対立懸念などから安全資産としての金需要が支えとなり、金価格は上昇しました。

■為替市況

【米ドル／円レートの推移】



(注) 対顧客電信売買相場仲値のデータを使用しています。

当期の米ドル／円レートは米ドル安円高となりました。

期初は発表された米経済指標が軒並み弱含んだことや、米パウエルF R B 議長の利下げに前向きな姿勢等から米ドル安円高で始まりましたが、12月末にかけては、米国の財政支出拡大や関税引き上げに伴うインフレ再燃が意識されたことなどから米ドル高円安となりました。1月から4月にかけては、日銀の追加利上げへの警戒感や、米トランプ政権による関税政策を巡る不透明感等から大きく米ドル安円高となりましたが、当期末にかけては、日銀の金融政策決定会合を受けて早期の利上げ観測が後退したことなどから再び米ドル高円安となりました。

ポートフォリオ

■各ファンド

マザーファンド受益証券の組入比率を高位に保った運用を行いました。なお《為替ヘッジあり》については、実質組入外貨建資産において、原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りました。

■マザーファンド

金価格への連動をめざす上場投資信託証券（E T F）等を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。

ベンチマークとの差異

■為替ヘッジあり

当ファンドはマザーファンド受益証券への投資を通じて、金価格への連動をめざすE T F等を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。このため、コンセプトに適った指数が存在しないことから、ベンチマークなどを設けていません。

■為替ヘッジなし

当ファンドはマザーファンド受益証券への投資を通じて、金価格への連動をめざすE T F等を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。このため、コンセプトに適った指数が存在しないことから、ベンチマークなどを設けていません。

分配金

■為替ヘッジあり

当期の分配金は、基準価額水準、市況動向等を勘案した結果、見送らせていただきました。

なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

【分配原資の内訳（1万口当たり）】

項目	当期 2024年7月26日～2025年7月25日
当期分配金（税引前）	－
対基準価額比率	－
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	3,327円

■為替ヘッジなし

当期の分配金は、基準価額水準、市況動向等を勘案した結果、見送らせていただきました。

なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

【分配原資の内訳（1万口当たり）】

項目	当期 2024年7月26日～2025年7月25日
当期分配金（税引前）	－
対基準価額比率	－
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	3,460円

（注1）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切り捨てで算出しているため、合計が当期分配金と一致しない場合があります。

（注2）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■ 今後の運用方針

■ 各ファンド

マザーファンド受益証券への投資を通じて、金価格への連動をめざす上場投資信託証券（E T F）等を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。なお「為替ヘッジあり」については、実質組入外貨建資産において、原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。

■ マザーファンド

金価格への連動をめざす上場投資信託証券（E T F）等を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。

ファンドデータ

ニッセイゴールドファンド（為替ヘッジあり）＜購入・換金手数料なし＞の組入資産の内容

■組入ファンド

	第2期末 2025年7月25日
ニッセイゴールドマザーファンド	100.7%

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。資産の状況等によっては合計が100%にならない場合があります。

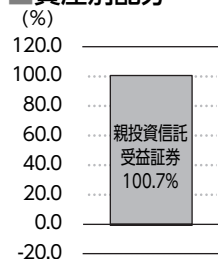
(注2) 組入全ファンドを記載しています。

■純資産等

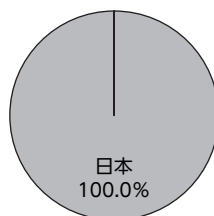
項目	第2期末 2025年7月25日
純資産総額	266,299,618円
受益権総口数	199,804,853口
1万口当たり基準価額	13,328円

(注) 当期間中における追加設定元本額は392,292,310円、同解約元本額は314,848,155円です。

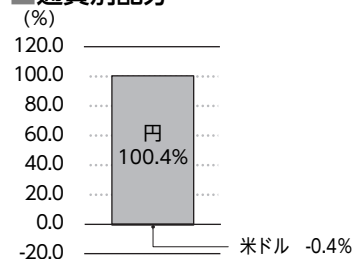
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



(注1) 資産別・国別・通貨別配分は、2025年7月25日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。資産の状況等によっては合計が100%にならない場合があります。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

(注2) 通貨別配分については、実質組入比率を記載しています。

ニッセイゴールドファンド（為替ヘッジなし）＜購入・換金手数料なし＞の組入資産の内容

■組入ファンド

	第2期末 2025年7月25日
ニッセイゴールドマザーファンド	100.0%

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

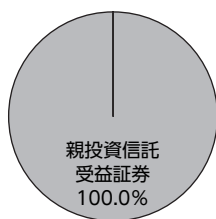
(注2) 組入全ファンドを記載しています。

■純資産等

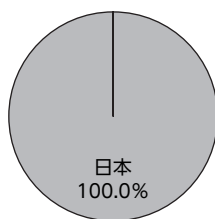
項目	第2期末 2025年7月25日
純資産総額	3,097,651,914円
受益権総口数	2,301,277,585口
1万口当たり基準価額	13,461円

(注) 当期間中における追加設定元本額は2,836,592,878円、同解約元本額は645,908,977円です。

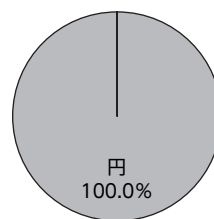
■資産別配分



■国別配分



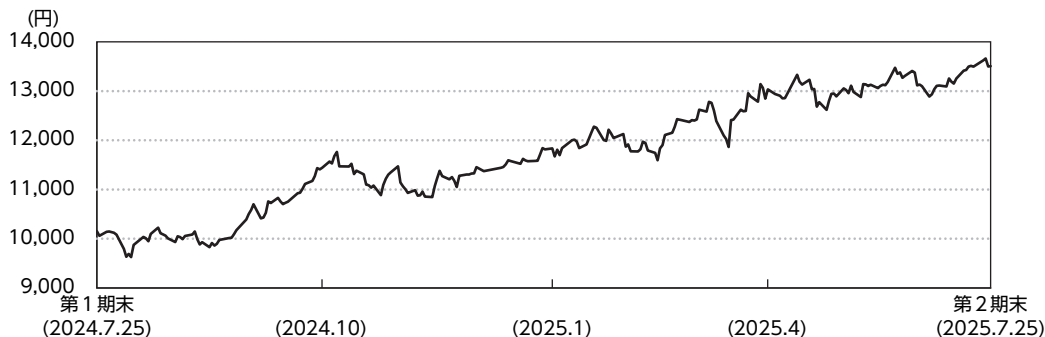
■通貨別配分



(注) 資産別・国別・通貨別配分は、2025年7月25日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

ニッセイゴールドマザーファンドの概要

■基準価額の推移



■上位銘柄

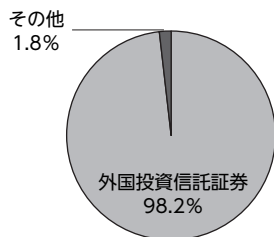
銘柄名	通貨	比率
SPDR GOLD MINISHARES TRUST	米ドル	98.2%
組入銘柄数	1	

■1万口当たりの費用明細

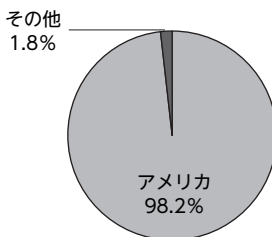
2024.7.26～2025.7.25

項目	金額
売買委託手数料 (投資信託証券)	17円 (17)
有価証券取引税 (投資信託証券)	0 (0)
その他費用 (保管費用) (その他)	8 (8) (0)
合計	25

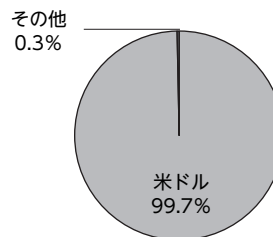
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



(注1) 基準価額の推移および1万口当たりの費用明細は、マザーファンドの直近の決算期のものであり、費用項目の金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。項目の詳細につきましては、前掲の費用項目の概要をご参照ください。

(注2) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、マザーファンド決算日(2025年7月25日現在)のものであり、比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

(注3) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書(全体版)の組入有価証券明細表をご参照ください。

設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税引前 分配金	期中 騰落率	(ご参考) 基準価額＋ 累計分配金	投資信託証券 組入比率	純資産 総額
(設定日)	円	円	%	円	%	百万円
2024年4月30日	10,000	－	－	10,000	－	99
1期(2024年7月25日)	10,250	0	2.5	10,250	93.0	125
2期(2025年7月25日)	13,328	0	30.0	13,328	98.8	266

(注1) 設定日の基準価額は当初設定価額を記載しています。

(注2) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注3) 「基準価額＋累計分配金」は、当該決算期の基準価額（分配落）に当該決算期以前の税引前分配金の累計額を加えたものです。

(注4) 当ファンドはマザーファンドを組み入れるため、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しています。以下同じです。

(注5) 設定日の純資産総額は当初設定元本を記載しています。

当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	投資信託証券 組入比率
	円	%	%
(期首)2024年7月25日	10,250	－	93.0
7月末	10,283	0.3	94.0
8月末	10,666	4.1	95.7
9月末	11,154	8.8	96.8
10月末	11,662	13.8	99.7
11月末	10,961	6.9	93.6
12月末	10,817	5.5	102.0
2025年1月末	11,480	12.0	94.9
2月末	11,723	14.4	94.7
3月末	12,480	21.8	99.1
4月末	13,329	30.0	97.4
5月末	13,223	29.0	96.0
6月末	12,987	26.7	97.9
(期末)2025年7月25日	13,328	30.0	98.8

(注) 期末基準価額は分配金（税引前）込み、騰落率は期首比です。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

2024年7月26日～2025年7月25日

	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
ニッセイゴールドマザーファンド	424,911	500,109	345,757	401,765

(注) 単位未満は切り捨てています。

利害関係人との取引状況等

2024年7月26日～2025年7月25日

当期における利害関係人との取引はありません。

親投資信託残高

2025年7月25日現在

種類	期首(前期末)	当期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
ニッセイゴールドマザーファンド	119,330	198,484	268,053

(注1) 単位未満は切り捨てています。

(注2) 当期末におけるニッセイゴールドマザーファンド全体の口数は2,492,949千口です。

投資信託財産の構成

2025年7月25日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
ニッセイゴールドマザーファンド	268,053	99.6
コール・ローン等、その他	1,033	0.4
投資信託財産総額	269,086	100.0

(注1) 外貨建資産は、当期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお7月25日における邦貨換算レートは、1米ドル147.42円です。

(注2) ニッセイゴールドマザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（3,356,374千円）の投資信託財産総額（3,422,788千円）に対する比率は98.1%です。

(注3) 評価額の単位未満は切り捨てています。

資産、負債、元本および基準価額の状況

(2025年7月25日現在)

項目	当期末
(A)資産	536,156,261円
コール・ローン等	258,266
ニッセイゴールドマザーファンド（評価額）	268,053,076
未収入金	267,844,919
(B)負債	269,856,643
未払金	268,821,440
未払解約金	770,938
未払信託報酬	263,302
その他未払費用	963
(C)純資産総額(A-B)	266,299,618
元本	199,804,853
次期繰越損益金	66,494,765
(D)受益権総口数	199,804,853口
1万口当たり基準価額(C/D)	13,328円

(注) 期首元本額 122,360,698円
 期中追加設定元本額 392,292,310円
 期中一部解約元本額 314,848,155円

損益の状況

当期（2024年7月26日～2025年7月25日）

項目	当期
(A)配当等収益	160円
受取利息	160
(B)有価証券売買損益	19,402,461
売買益	70,595,827
売買損	△ 51,193,366
(C)信託報酬等	△ 831,980
(D)当期損益金(A+B+C)	18,570,641
(E)前期繰越損益金 （分配準備積立金）	284,797 (284,797)
(F)追加信託差損益金* （配当等相当額） （売買損益相当額）	47,639,327 (4,023,567) (43,615,760)
(G)合計(D+E+F)	66,494,765
次期繰越損益金(G)	66,494,765
追加信託差損益金 （配当等相当額） （売買損益相当額） 分配準備積立金	47,639,327 (4,023,567) (43,615,760) 18,855,438

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。
 (注2) (C)信託報酬等は、信託報酬に対する消費税等相当額を含みます。
 (注3) (E)前期繰越損益金とは、分配準備積立金と繰越欠損金の合計で、前期末の金額に、期中一部解約により変動した金額を調整して算出しています。
 (注4) (F)追加信託差損益金*とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、配当等相当額と売買損益相当額に区分します。前期末の金額に、期中追加設定および一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

分配金の計算過程

項目	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	160円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	18,570,481円
(c) 信託約款に定める収益調整金	47,639,327円
(d) 信託約款に定める分配準備積立金	284,797円
(e) 分配対象額（a + b + c + d）	66,494,765円
(f) 分配対象額（1万口当たり）	3,327.99円
(g) 分配金	0円
(h) 分配金（1万口当たり）	0円

設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税引前 分配金	期中 騰落率	(ご参考) 基準価額＋ 累計分配金	投資信託証券 組入比率	純資産 総額
(設定日)	円	円	%	円	%	百万円
2024年4月30日	10,000	－	－	10,000	－	1
1期(2024年7月25日)	10,147	0	1.5	10,147	96.3	112
2期(2025年7月25日)	13,461	0	32.7	13,461	98.2	3,097

(注1) 設定日の基準価額は当初設定価額を記載しています。

(注2) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注3) 「基準価額＋累計分配金」は、当該決算期の基準価額（分配落）に当該決算期以前の税引前分配金の累計額を加えたものです。

(注4) 当ファンドはマザーファンドを組み入れるため、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しています。以下同じです。

(注5) 設定日の純資産総額は当初設定元本を記載しています。

当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	投資信託証券 組入比率
	円	%	%
(期首)2024年7月25日	10,147	－	96.3
7月末	10,130	△ 0.2	97.6
8月末	10,048	△ 1.0	97.0
9月末	10,404	2.5	96.3
10月末	11,748	15.8	96.9
11月末	10,914	7.6	94.7
12月末	11,353	11.9	98.0
2025年1月末	11,819	16.5	97.0
2月末	11,750	15.8	96.6
3月末	12,552	23.7	98.0
4月末	12,872	26.9	97.7
5月末	12,945	27.6	97.0
6月末	12,849	26.6	97.8
(期末)2025年7月25日	13,461	32.7	98.2

(注) 期末基準価額は分配金（税引前）込み、騰落率は期首比です。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

2024年7月26日～2025年7月25日

	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
ニッセイゴールドマザーファンド	2,829,620	3,520,264	646,425	801,774

(注) 単位未満は切り捨てています。

利害関係人との取引状況等

2024年7月26日～2025年7月25日

当期における利害関係人との取引はありません。

親投資信託残高

2025年7月25日現在

種類	期首(前期末)	当期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
ニッセイゴールドマザーファンド	110,529	2,293,724	3,097,675

(注1) 単位未満は切り捨てています。

(注2) 当期末におけるニッセイゴールドマザーファンド全体の口数は2,492,949千口です。

投資信託財産の構成

2025年7月25日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
ニッセイゴールドマザーファンド	3,097,675	99.4
コール・ローン等、その他	19,223	0.6
投資信託財産総額	3,116,898	100.0

(注1) 外貨建資産は、当期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお7月25日における邦貨換算レートは、1米ドル147.42円です。

(注2) ニッセイゴールドマザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（3,356,374千円）の投資信託財産総額（3,422,788千円）に対する比率は98.1%です。

(注3) 評価額の単位未満は切り捨てています。

資産、負債、元本および基準価額の状況

(2025年7月25日現在)

項目	当期末
(A)資産	3,116,898,551円
コール・ローン等	2,219,806
ニッセイゴールドマザーファンド（評価額）	3,097,675,237
未収入金	17,003,508
(B)負債	19,246,637
未払解約金	16,956,545
未払信託報酬	2,281,054
その他未払費用	9,038
(C)純資産総額(A-B)	3,097,651,914
元本	2,301,277,585
次期繰越損益金	796,374,329
(D)受益権総口数	2,301,277,585口
1万口当たり基準価額(C/D)	13,461円

(注) 期首元本額 110,593,684円
 期中追加設定元本額 2,836,592,878円
 期中一部解約元本額 645,908,977円

損益の状況

当期（2024年7月26日～2025年7月25日）

項目	当期
(A)配当等収益	1,530円
受取利息	1,530
(B)有価証券売買損益	222,622,623
売買益	261,837,207
売買損	△ 39,214,584
(C)信託報酬等	△ 2,684,291
(D)当期損益金(A+B+C)	219,939,862
(E)前期繰越損益金 （繰越欠損金）	△ 802,539 (△ 802,539)
(F)追加信託差損益金* （配当等相当額） （売買損益相当額）	577,237,006 (1,160) (577,235,846)
(G)合計(D+E+F)	796,374,329
次期繰越損益金(G)	796,374,329
追加信託差損益金 （配当等相当額） （売買損益相当額） 分配準備積立金	577,237,006 (1,160) (577,235,846) 219,137,323

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。

(注2) (C)信託報酬等は、信託報酬に対する消費税等相当額を含みます。

(注3) (E)前期繰越損益金とは、分配準備積立金と繰越欠損金の合計で、前期末の金額に、期中一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

(注4) (F)追加信託差損益金*とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、配当等相当額と売買損益相当額に区分します。前期末の金額に、期中追加設定および一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

分配金の計算過程

項目	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	1,530円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	219,135,793円
(c) 信託約款に定める収益調整金	577,237,006円
(d) 信託約款に定める分配準備積立金	0円
(e) 分配対象額（a + b + c + d）	796,374,329円
(f) 分配対象額（1万口当たり）	3,460.57円
(g) 分配金	0円
(h) 分配金（1万口当たり）	0円

お知らせ

■運用報告書の電子交付について

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更され、書面交付またはデジタル交付いずれかを選択できるようになりました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献につながるものととらえています。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供も進めていきます。

(2025年4月1日)

■自社による「為替ヘッジあり」の設定解約状況

前期末 残高(元本)	当期 設定元本	当期 解約元本	当期末残高			取引の理由
			元本	評価額	比率	
百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	%	
99	－	99	－	－	－	当初設定時における所得分の処分

(注) 元本の単位未満は切り捨てています。以下同じです。

■自社による「為替ヘッジなし」の設定解約状況

前期末 残高(元本)	当期 設定元本	当期 解約元本	当期末残高			取引の理由
			元本	評価額	比率	
百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	%	
1	－	1	－	－	－	当初設定時における所得分の処分

■各ファンドの約款変更

以下の変更に伴い、関連条項に所要の変更を行いました。

①運用報告書に関する記載の変更

(2025年4月1日)

②ファンド名称を「ニッセイゴールドファンド（為替ヘッジあり）／（為替ヘッジなし）＜購入・換金手数料なし＞」に変更

(2025年6月21日)

各ファンドの概要

		為替ヘッジあり	為替ヘッジなし								
商	品	分	類	追加型投信／内外／その他資産（商品）							
信	託	期	間	無期限							
運				用		方		針		ニッセイゴールドマザーファンド受益証券への投資を通じて、金価格への連動をめざす上場投資信託証券（ＥＴＦ）等を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。	
										実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。	
主要運用対象		ニッセイゴールドファンド ＜購入・換金手数料なし＞		ニッセイゴールドマザーファンド受益証券							
		ニッセイゴールドマザーファンド		金価格への連動をめざすＥＴＦ等							
運		用		方		法		以下の様な投資制限のもと運用を行います。 ・株式への実質投資割合には、制限を設けません。 ・外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。			
								以下の様な投資制限のもと運用を行います。 ・株式への投資割合には、制限を設けません。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。			
分	配	方		針		毎決算時に、原則として経費控除後の配当等収益および売買益等の全額を対象として、基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。					

ニッセイゴールドマザーファンド

運用報告書

第 2 期

(計算期間：2024年7月26日～2025年7月25日)

運用方針

金価格への連動をめざす上場投資信託証券（ＥＴＦ）等を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。

主要運用 対象

金価格への連動をめざすＥＴＦ等

運用方法

以下の様な投資制限のもと運用を行います。

- ・ 株式への投資割合には、制限を設けません。
- ・ 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。



ニッセイアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-6

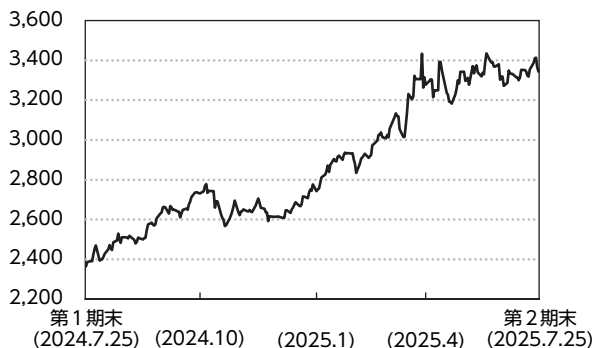
運用経過

2024年7月26日～2025年7月25日

投資環境

金市況

【金価格（米ドルベース）の推移】



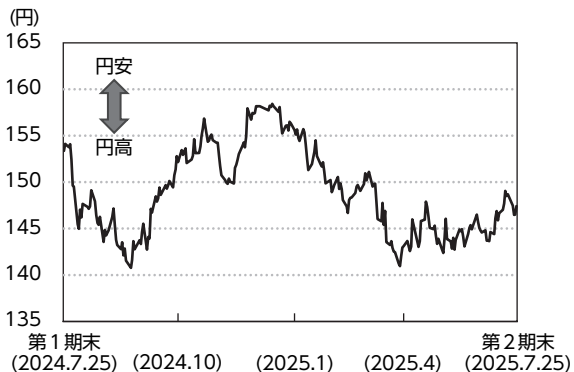
(注) 金価格（米ドルベース）はLBMA Gold Price PM USDであり、ブルームバーグのデータをもとに、ニッセイアセットマネジメントが作成しています。

金価格は期を通じて見ると上昇しました。

期初はF R Bが利下げに転じたことや中東の地政学リスクの高まりなどを背景に安全資産としての買いにより、金価格は上昇しました。期半ばは米トランプ新政権発足に伴う政策不透明感や関税政策への懸念からの逃避買いが生じ、金価格は上昇しました。その後、当期末にかけても、米中間の関税を巡る対立懸念などから安全資産としての金需要が支えとなり、金価格は上昇しました。

為替市況

【米ドル／円レートの推移】

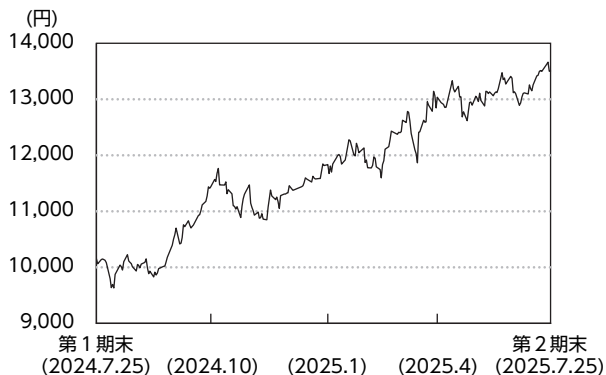


(注) 対顧客電信売買相場仲値のデータを使用しています。

当期の米ドル／円レートは米ドル安円高となりました。

期初は発表された米経済指標が軒並み弱含んだことや、米パウエルF R B議長の利下げに前向きな姿勢等から米ドル安円高で始まりましたが、12月末にかけては、米国の財政支出拡大や関税引き上げに伴うインフレ再燃が意識されたことなどから米ドル高円安となりました。1月から4月にかけては、日銀の追加利上げへの警戒感や、米トランプ政権による関税政策を巡る不透明感等から大きく米ドル安円高となりましたが、当期末にかけては、日銀の金融政策決定会合を受けて早期の利上げ観測が後退したことなどから再び米ドル高円安となりました。

基準価額等の推移



(注) 当マザーファンドはベンチマークを設けていません。

■基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

- ・2024年9月中旬から10月下旬にかけて、ECBやFRBの利下げ、中東の地政学リスクの高まりにより金価格が上昇したことや、為替が円安に推移したこと
- ・2025年1月に米トランプ新政権発足に伴う政策不透明感が意識されて投資家のリスク回避の買いが入ったほか、中国人民銀行による金保有増加の報道等を背景に金価格が上昇したこと
- ・3月に米インフレ指標鈍化や関税政策の影響等で金への逃避買いが生じ、金価格が上昇したこと

<下落要因>

- ・11月に米大統領選でのトランプ氏勝利により、同氏の政策がインフレを加速させるとの思惑から米金利が上昇したため、金価格が一時大幅に下落したこと
- ・4月上旬に、トランプ米大統領の発表した相互関税を受けて世界経済の悪化や貿易摩擦激化への懸念が高まり、他の資産と同様に金が売られたことや、為替が円高となったこと

ポートフォリオ

金価格への連動をめざす上場投資信託証券（ETF）等を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。

ベンチマークとの差異

当ファンドは金価格への連動をめざすETF等を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。このため、コンセプトに適った指数が存在しないことから、ベンチマークなどを設けていません。

■ 今後の運用方針

金価格への連動をめざす上場投資信託証券（E T F）等を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。

■ お知らせ

■ 約款変更

運用報告書に関する記載の変更を行うため関連条項に所要の変更を行いました。

（2025年4月1日）

設定以来の運用実績

決算期	基準価額	期中	投資信託証券 組入比率	純資産 総額
		騰落率		
(設定日)	円	%	%	百万円
2024年4月30日	10,000	—	—	100
1期(2024年7月25日)	10,153	1.5	96.3	233
2期(2025年7月25日)	13,505	33.0	98.2	3,366

(注1) 設定日の基準価額は当初設定価額を記載しています。

(注2) 設定日の純資産総額は当初設定元本を記載しています。

当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	投資信託証券 組入比率
	円	%	%
(期首)2024年7月25日	10,153	—	96.3
7月末	10,136	△ 0.2	97.6
8月末	10,057	△ 0.9	97.0
9月末	10,415	2.6	96.3
10月末	11,763	15.9	96.9
11月末	10,931	7.7	94.7
12月末	11,373	12.0	98.0
2025年1月末	11,843	16.6	97.0
2月末	11,776	16.0	96.6
3月末	12,583	23.9	98.0
4月末	12,906	27.1	97.7
5月末	12,982	27.9	97.1
6月末	12,889	26.9	97.8
(期末)2025年7月25日	13,505	33.0	98.2

(注) 騰落率は期首比です。

1 万口当たりの費用明細

2024年7月26日～2025年7月25日

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
売買委託手数料 (投資信託証券)	17円 (17)	0.148% (0.148)	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料：有価証券等の売買・取引の際に仲介人に支払う手数料
有価証券取引税 (投資信託証券)	0 (0)	0.000 (0.000)	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用 (保管費用)	8 (8)	0.065 (0.064)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(その他)	(0)	(0.001)	・ 信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・ 借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	25	0.213	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額（11,748円）で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

売買および取引の状況

2024年7月26日～2025年7月25日

投資信託証券

銘柄	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
外 (アメリカ)	千口	千米ドル	千口	千米ドル
国 SPDR GOLD MINISHARES TRUST	325	19,916	20	1,086

(注1) 金額は受渡金です。

(注2) 口数および金額の単位未満は切り捨てています。ただし、口数および金額が単位未満の場合は、小数で記載しています。

組入有価証券明細表

2025年7月25日現在

外国 (外貨建) 投資信託証券

銘柄		期首(前期末)	当期末	
		口数	口数	評価額
				外貨建金額 邦貨換算金額
(アメリカ)	千口	千口	千米ドル	千円
SPDR GOLD MINISHARES TRUST	30	336	22,420	3,305,233
合計	口数・金額	30	336	— 3,305,233
	銘柄数<比率>	1	1	— <98.2%>

(注1) 邦貨換算金額は、当期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 邦貨換算金額の< >内は、当期末の純資産総額に対する投資信託証券評価額の比率です。

(注3) 口数および評価額の単位未満は切り捨てています。ただし、口数および評価額が単位未満の場合は、小数で記載しています。

投資信託財産の構成

2025年7月25日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
投資信託証券	3,305,233	96.6
コール・ローン等、その他	117,554	3.4
投資信託財産総額	3,422,788	100.0

(注1) 外貨建資産は、当期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお7月25日における邦貨換算レートは、1米ドル147.42円です。

(注2) 外貨建純資産 (3,356,374千円) の投資信託財産総額 (3,422,788千円) に対する比率は98.1%です。

(注3) 評価額の単位未満は切り捨てています。

ニッセイゴールドマザーファンド

資産、負債、元本および基準価額の状況

(2025年7月25日現在)

項目	当期末
(A)資産	3,439,988,315円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	117,554,390
投 資 信 託 証 券(評価額)	3,305,233,365
未 収 入 金	17,200,560
(B)負債	73,336,947
未 払 金	55,558,512
未 払 解 約 金	17,778,435
(C)純 資 産 総 額(A - B)	3,366,651,368
元 本	2,492,949,999
次 期 繰 越 損 益 金	873,701,369
(D)受 益 権 総 口 数	2,492,949,999口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C / D)	13,505円

- (注1) 期首元本額 229,860,525円
 期中追加設定元本額 3,255,272,251円
 期中一部解約元本額 992,182,777円
- (注2) 当マザーファンドの当期末元本額におけるベビーファンド別内訳は、次の通りです。
 ニッセイゴールドファンド（為替ヘッジあり）
 <購入・換金手数料なし> 198,484,322円
 ニッセイゴールドファンド（為替ヘッジなし）
 <購入・換金手数料なし> 2,293,724,722円
 F Wニッセイゴールドファンド 740,955円

損益の状況

当期（2024年7月26日～2025年7月25日）

項目	当期
(A)配 当 等 収 益	917,787円
受 取 利 息	917,787
(B)有 価 証 券 売 買 損 益	315,197,319
売 買 益	317,781,773
売 買 損	△ 2,584,454
(C)信 託 報 酬 等	△ 667,359
(D)当期損益金 (A + B + C)	315,447,747
(E)前 期 繰 越 損 益 金	3,508,386
(F)追 加 信 託 差 損 益 金	766,102,571
(G)解 約 差 損 益 金	△ 211,357,335
(H)合 計(D + E + F + G)	873,701,369
次 期 繰 越 損 益 金 (H)	873,701,369

- (注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。
- (注2) (F)追加信託差損益金とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、元本を上回る場合は利益として、下回る場合は損失として処理されます。
- (注3) (G)解約差損益金とは、一部解約をした価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。